

I. 研修について

呼吸器疾患は、肺癌、肺炎、COPD、喘息、間質性肺炎など幅広い領域にまたがっており、総合的判断力が必要とされる。また、呼吸器疾患は高齢者で発症頻度が高まるため、今後ますます呼吸器医療の必要性が高まっている。当科では、呼吸器疾患の診断・治療に必要な知識・技能の習得はもちろん、患者と向き合う全人的医療を目指した研修となるよう心掛けている。

II. 研修の到達目標

- 呼吸器領域の初期研修における基本的知識と技能を身につける。
 - ・胸部 X 線写真、CT の読影技術の理解と習得
 - ・抗菌薬、ステロイド薬、抗悪性腫瘍薬などの使用法の理解と習得
 - ・肺機能検査の理解
 - ・胸腔穿刺手技の習得
 - ・気管支鏡検査の理解と経験
- 全人的医療に関する理解を深める中での患者に対する適切な対応を習得する。
 - ・インフォームド・コンセントに関する理解と実践
 - ・ターミナル・ケアに関する理解と実践

III. 医師数[うち臨床研修指導医数] (平成 29 年 3 月現在)

- ・常勤医師 6 名[2 名]
- ・非常勤医師 1 名

IV. 学会認定医・専門医・指導医 (平成 29 年 3 月現在)

日本内科学会認定内科医(6 名)・総合内科専門医(2 名)
日本呼吸器学会専門医(3 名)・指導医(1 名)
日本呼吸器内視鏡学会専門医(2 名)・指導医(1 名)
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医(1 名)・暫定指導医(1 名)
日本感染症学会専門医(1 名)
日本がん治療認定医機構がん治療認定医(1 名)・指導医(1 名)
ICD 制度協議会認定 ICD(1 名)
医師会認定産業医(1 名)

V. 施設認定

日本内科学会認定医制度教育病院
日本呼吸器学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本感染症学会研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設

